

スポーツ科学が描く 2035

～身体・感覚・パフォーマンスはどこまで拡張されるのか～

スポーツ科学は、AIやVR、センシング技術などとの融合により大きく進化しています。10年後のスポーツ現場や競技力向上支援はどのように変化するのでしょうか。

本シンポジウムでは、身体圏研究の拠点であるCVICにおいて、多様な視点からスポーツの未来を展望し、その実現に向けてどのような研究・技術・発想が求められるのかを議論します。

2026年
10/2 金
15:00～18:00
参加費 無料

学生用
参加申込



一般用
参加申込



申込期限
2026/9/24(木)

30名限定

PROGRAM

15:00	CVIC見学ツアー
15:30	開会挨拶 伊坂忠夫(立命館大学副学長/スポーツ健康科学総合研究所長/拠点リーダー)
15:35 ～ 16:15	第一部《プレゼン》 ① 永原 悠利(総合科学技術研究機構 専門研究員) ② 犬走 渚(総合科学技術研究機構 助教) ③ 塩澤 華奈(スポーツ健康科学部 助教) ④ 長野 明紀(スポーツ健康科学部 教授)
16:25	第二部《ワークショップ》
17:55	閉会挨拶
18:00	閉会

MAP

立命館大学
びわこ・くさつキャンパス
立命館先端クロスバース
イノベーションcommons(CVIC)
グラスルーツ [シンポジウム会場]
イノベーションセンター(GIC)



主催：スポーツ健康科学総合研究所・スポーツ庁委託事業

「先端的スポーツ医・科学研究推進事業」ハイパフォーマンス・アスリート極限支援研究拠点

協力：立命館大学 地域中核・特色ある研究大学強化促進事業

〈お問い合わせ〉立命館大学 スポーツ健康科学総合研究所 事務局 ☐ spo-ins@st.ritsumeai.ac.jp



立命館大学
スポーツ健康科学総合研究所



J-PEAKS